

SHOW "No Action No-result"

換気不足による一酸化炭素中毒事故が発生しています！

昨年暮れの大阪市内心療内科クリニックで起きた放火事件では犠牲者のほぼ全員が一酸化炭素中毒死でした。



住宅で起きる 一酸化炭素中毒事故に注意！

一酸化炭素は、無色・無臭で気が付きにくく、人体に有毒な気体です。濃度によっては死に至る危険性があることから、十分な注意が必要です。

事故防止のポイント

《十分な換気を行う》

十分な換気により、室内の一酸化炭素濃度が下がることから、火気設備・器具を使用の際は換気扇の使用や、定期的に窓を開けるなどして換気を十分に行いましょう。

また、火気設備・器具を使用中に、少しでも異常を感じたら使用を中止するとともに、十分な換気を行いましょう。

《定期的な点検と清掃を行う》

不完全燃焼が起これると一酸化炭素が発生することから、火気設備・器具の定期的な点検と清掃を行いましょう。

《使用方法を守る》

発動発電機やバーベキュー用コンロなど、屋外での使用が想定されている火気器具等は、屋内では使用しないなど、火気設備・器具の使用methodenを守りましょう。

《その他》

一酸化炭素は、無色・無臭で気が付きにくい気体です。一酸化炭素を感知する警報器を設置することも早期発見に有効です。

今一度 消火器の取り扱いを学習しておきましょう

■大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ



- ・火災を発見した場合は、すぐに大きな声で周囲の人に知らせます。
- ・なるべく多い人数で、119番通報・初期消火・避難誘導を協力して行います。
- ・消火器を火災が発生している場所まで運びます。

注意!あまり遠い場所で放射させると有効な放射距離まで来たときに薬剤が無くなっていることがあります。

重要!!初期消火に失敗した場合に備えて、必ず避難路を確保してから初期消火に当たってください。

■消火器の安全栓を抜く



消火器の安全栓(安全ピン)を上方に向かって強く引き抜きます(ストッパーが倒れレバーが握れるようになります)。

■ホースを伸ばし火元に向ける



- ・ホース先端のノズルをしっかりと持ち、消火器本体からはずしてホースを火元に向けます。
- ・ホースの伸ばし方は消火器によって異なりますので、それぞれの消火器を確認してください。

■レバーを強く握る



- ・レバーを強く握ると消火薬剤が放射されます。
- ・ホースが強く振られますので、ホース先端のノズルをしっかりと握ってください。



参考:手だけでレバーを握りきれない場合は、消火器を足下に置き、ひじをまっすぐに伸ばし体重をかけて消火薬剤を放射させます。

■放射する



- ・燃えている物から3～5メートル程度の距離を取り、あまり近づきすぎないようにしてください。
- ・炎と煙に惑わされることなく、燃えている物をねらってください。



- ・燃えている物を見極め、手前からホウキで掃くようにホースを操作して消火してください。



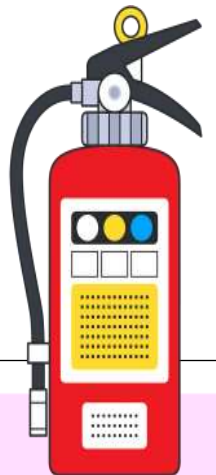
- ・火勢が弱まってきたら、少しずつ近づきながら火元に向かって確実に放射します。

■初期消火成功



- ・消火器の薬剤は全て出し切ってください。

消火器の使用期限を確認しておきましょう。期限が迫っていたら、直ぐに交換しましょう。旧くなった消火器の処分は有料ですが、ホームセンターによっては、新たな購入本数と同数の古い消火器を無料で引き取るサービスも行っています。



重要 !! 消火器による初期消火を中止する判断基準

天井に炎がとどく、又は天井に燃え移った時点で消火器による初期消火はできないと判断してください。

その場合は速やかに初期消火を中止し、最初に確保した「避難路」を通過して避難してください。